

HPCI 戦略プログラム 分野3 地震津波課題ワークショップ

次世代スパコンが拓く 地震津波防災の未来像

日時:平成23年2月28日(月) 10:00~17:30

会場:甲南大学ポートアイランドキャンパス レクチャーホール
神戸市中央区港島南町7-1-20

入場無料、事前登録不要(定員 200名)

主催:独立行政法人海洋研究開発機構

後援:甲南大学、財団法人計算科学振興財団

問合せ先:海洋研究開発機構 地震津波・防災研究プロジェクト

TEL 046-867-9314 E-mail donet_info@jamstec.go.jp

HPCI 戦略プログラム 分野3 地震津波課題ワークショップ 次世代スパコンが拓く地震津波防災の未来像 プログラム

2月28日(月)	
10:00-10:10	開会挨拶 (兵庫県防災監 木村 光利・甲南大学先端生命工学研究所長 杉本 直己)
10:10-10:15	趣旨説明
阪神大震災の教訓を活かす	
10:15-10:45	地盤変形予測の数値解析の現状 -埋立人工島と高速道路盛土の例- (神戸大学 飯塚 敦)
10:45-11:15	E-ディフェンス実験の成果と活用 (兵庫耐震工学研究センター 梶原 浩一)
地震再来シナリオ研究の展望	
11:15-11:35	波形インバージョンによる震源域内部構造のイメージング (海洋研究開発機構 坪井 誠司)
11:35-11:55	媒質評価と機械学習 (東京大学 鳥海 光弘)
11:55-12:10	地震発生予測に向けた取り組み (海洋研究開発機構 堀 高峰)
12:10-12:25	地震破壊伝播シナリオ構築 (防災科学技術研究所 福山 英一)
12:25-12:35	質疑応答
地震津波予測研究の目指すもの	
13:45-14:05	地震動予測の高度化に向けて (東京大学 古村 孝志)
14:05-14:25	津波予測の高度化と減災への課題 (東北大学 今村 文彦)
14:25-14:45	沿岸部における地震・津波の複合場の被害予測手法の構築に向けて (港湾空港技術研究所 有川 太郎)
14:45-14:55	質疑応答
都市災害とその対策	
15:10-15:30	地震に強い街づくりを考える -地盤の揺れとそれに伴う諸現象- (海洋研究開発機構 阪口 秀)
15:30-15:50	大規模数値計算を使った都市災害シミュレーションの現状と展望 (東京大学 堀 宗朗)
15:50-16:00	質疑応答
パネルディスカッション (進行 金田 義行)	
16:00-17:20	今後の課題と予測研究の展望 -ケーススタディー紹介:高知市を例として- (古村 孝志、今村 文彦、堀 宗朗、堀 高峰、坪井 誠司)
17:20-17:30	閉会挨拶 (文部科学省地震・防災研究課長 鈴木 良典)

開催場所:甲南大学ポートアイランドキャンパス7F
レクチャーホール
〒650-0047 神戸市中央区港島南町7-1-20
TEL 078-303-1457
ポートライナー ポートアイランド南駅から徒歩約3分

昼食について:会場付近には、徒歩圏内で昼食をとれる場所が殆どありません。このため、希望者にはお弁当(お茶付きで1200円を予定)を予めご用意します。お弁当を希望される方は、下記問合せ先までお申し込みください。締め切りは2月21日とします。代金は、当日受付にてお支払いください。

問合せ先:独立行政法人海洋研究開発機構
地震津波・防災研究プロジェクト
TEL 046-867-9314
FAX 046-867-9343
E-mail donet_info@jamstec.go.jp

